

令和6年度第2回理事会・連絡協議会開催要項

第2回理事会・連絡協議会《メモ》

2024. 5. 10.

進行：監事 河野校長

- 1 会長挨拶（風戸会長）
- 2 千葉県教育委員会挨拶（県立高校統括監 細川 様）
県立7校について地域フォーラムを開催する
- 3 千葉県教育委員会行政説明等
 - (1) 令和7年度入学者選抜にむけて ※ 資料なし
学習指導課 学力向上推進室 主幹兼室長 織田 様
・入学者選抜実施要項説明会開催形態の変更について → 総セWeb.
・ミライコンパスの付帯機能について → 11月資料送付, 12月説明会
千葉県総合教育センター 学力調査部 研究指導主事 岡松 様
 - (2) 人事評価について ※ 資料なし
教職員課 県立学校人事室 主幹兼室長 片岡 様
 - (3) 令和6年度 子どもと親のサポートセンターの事業について
千葉県子どもと親のサポートセンター 支援事業部長 鈴木 様
 - (4) 千葉県立博物館・美術館の取り組みについて
環境生活部スポーツ・文化局 文化振興課 副技監兼学芸振興室長 立和名 様
 - (5) 第70回関東地区高等学校PTA連合会大会千葉大会について
千葉県高等学校PTA連合会 事務局長 林 様
 - (6) 令和6年度日本教育公務員弘済会事業について
日本教育公務員弘済会千葉支部長 大竹 様
日本教育公務員弘済会千葉支部参事 地崎 様
 - (7) 次世代へ光り輝く「教育立憲ちば」プラン（概要版）リーフレット
※資料配布のみ 企画管理部 教育政策課
 - (8) 「高等学校における租税教室（出前授業）開催等のお願い」
※資料配布のみ 千葉県租税教育推進協議会

4 研究協議

(1) 当面する教育課題等について（風戸会長）

(2) 春季総会について

ア 会場 県立千葉高等学校 講堂

イ 日時 令和6年6月7日(金) 14:00-16:00(予定)

〈日程〉13:30-13:55 受付

14:00-14:40 総会 ※開会行事含む

14:40-15:50 研究協議 ※途中休憩あり

15:50-16:00 諸連絡

ウ 運営担当 船橋地区

エ 総会議題 別紙参照

・令和6年度協会重点目標について 資料あり

・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画(案)について

・令和5年度一般会計決算報告及び令和6年度予算(案)について

・その他

オ 研究委員会からの発表等

※時間枠等の調整は後日事務局とで詰める。

① 管理運営（市立稲毛 工藤校長）

② 学校改善（船橋二和 佐々木校長）

5 報告

(1) 後援事業（7件）

① 行事の名称 第77回養護教諭研修会

主催 千葉県養護教諭会

期日 令和6年6月14日(金)

場所 千葉市民会館及ハイブリッド開催

② 行事の名称 第61回道徳教育者研究会千葉県3会場

主催 公益財団法人会モラロジー道徳教育財団

期日・場所 令和6年7月25日(木) 麗澤中学・高等学校階段教室

29日(月) 麗澤大学かえで校舎

12月15日(日) 拓殖大学紅陵高等学校

③ 行事の名称 大学進学相談会2024

主催 千葉学習塾協同組合

期日 6月9日(日)

場所 東京ベイ幕張ホール

令和6年度千葉県高等学校長協会重点目標（案）について

テーマ：明日の千葉県、日本の未来を拓く高等学校教育の創造

—第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえた教育活動の充実と情報共有—

- 1 高等学校をめぐる教育事情の把握を一層進め、高等学校教育の充実・発展に向けた取組の推進
 - (1) 高大接続改革や新学習指導要領の実施など高等学校教育が直面する課題の研究
 - (2) 各研究委員会を中心とした研究活動の推進と発信
 - (3) 地区校長会議を中心とした会員相互の情報交換と連携強化
 - (4) 「校長の資質向上に関する指標」に基づく研修の充実
- 2 働き方改革を推進し、〈教育の質〉の向上を目指す学校経営の確立
 - (1) 新学習指導要領の着実な実施
 - ・授業改善、カリキュラムマネジメントの推進
 - ・社会に開かれた教育課程の実現
 - (2) コミュニティスクール導入に向けた、生徒・家庭・地域・県民の連携強化と信頼の醸成
 - (3) 人事評価制度を活用した、効率的で機動力のある組織マネジメントと業務改善の推進
 - (4) 「千葉県・千葉市教員等育成指標」に基づく教員の資質、能力の向上
 - (5) 教員のメンタルヘルス不調の未然防止
 - (6) 義務教育と高等学校教育との接続の一層の推進
 - (7) 公正な入学者選抜の実施に向けた選抜業務の評価・見直し
- 3 生きる力を育む教育の充実
 - (1) 社会の変化に対応した教育活動の一層の工夫・改善
 - (2) キャリア教育の充実による職業観、キャリア意識の育成
 - (3) 高等学校における通級指導、特別支援教育の充実
 - (4) 学校安全教育の推進
- 4 確かな学力を育む教育の実現
 - (1) 創意工夫を生かした指導による基礎的・基本的知識及び技能の習得及び思考力・判断力・表現力の育成
 - (2) 教員との対話、生徒相互の対話等による視野の拡大、学びの深化
 - (3) 体験学習やICT、オンライン等を活用した主体的な学びの確立と家庭学習の促進
 - (4) 全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- 5 豊かな心を育む教育の実現
 - (1) 生徒が自己指導能力を高める生徒指導の充実
 - (2) 自他の尊重、社会連帯の精神の涵養と共生社会に必要な能力の育成
 - (3) 確かな倫理観に基づく規範意識の確立と実践の推進
 - (4) 公共心や社会貢献の精神の涵養
- 6 教育条件の整備充実
 - (1) 感染症、自然災害、学校事故対応等、危機管理体制の見直しと施設の整備充実
 - (2) 質の高い教師の確保並びに教職員の資質向上につながる処遇の改善
 - (3) 部活動ガイドラインを踏まえた部活動の改善と部活動指導に関わる支援の充実
 - (4) GIGAスクール構想の実現、教育DXの推進に向けたICT環境の整備

令和5年度事業報告

(1) 理事会・総会等

令和5年	4月18日(火)	臨時総会 第1回理事会並びに連絡協議会 (県立千葉女子高)
	5月9日(火)	第2回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	6月2日(金)	春季総会並びに研究協議会 (県立千葉高)
	7月5日(水)	第3回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	10月4日(水)	第4回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	11月14日(火)	秋季総会並びに研究協議会 (県立千葉女子高)
6年	1月16日(火)	第5回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	3月28日(木)	会務会計監査、役員会 (県教育会館)

その他に

令和5年	8月22日(火)	教育庁幹部との懇談会 (企画管理部会議室)
	9月13日(水)	千葉県中学校・高等学校進路指導連絡協議会 (県教育会館)

(2) 出版物

協会報第5号	(5年 6月 2日発行)
令和5年度会員名簿 (校長・副校長・教頭・事務長等)	(5年 6月 2日発行)
協会報第6号	(5年11月14日発行)
研究紀要第52号	(6年 3月29日発行)

(3) 後援事業等

21件を承認

令和6年度事業計画

(1) 理事会・総会等

令和6年	4月16日(火)	臨時総会・第1回理事会
	5月10日(金)	第2回理事会並びに連絡協議会
	6月7日(金)	春季総会 (県立千葉高)
	7月9日(火)	第3回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	8月中旬	高等学校長協会役員と教育庁幹部との懇談会? (企画管理部会議室)
	10月4日(金)	第4回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)
	11月12日(火)	秋季総会並びに研究協議会 (県立千葉女子高)
7年	1月22日(水)	第5回理事会並びに連絡協議会 (県教育会館)

その他に

9月中旬	千葉県中学校・高等学校進路指導連絡協議会 (県教育会館)
------	------------------------------

(2) 出版物

協会報第7号	(6年 6月 7日発行)
令和6年度会員名簿 (校長・副校長・教頭・事務長等)	(6年 6月 7日発行)
協会報第8号	(6年11月12日発行)
研究紀要第53号	(7年 3月31日発行)

(3) 後援事業等 (協賛を含む。)

令和5年度決算（案）並びに監査報告について

【一般会計】

(情会連一)

1 収入

単位:円

項目	予算	決算	増減	備考
1 会費	2,800,000	2,814,000	▲ 14,000	【*会費内訳】参照
2 刊行物作成及び定期総会等会議資料	756,000	760,000	▲ 4,000	4,000円×189校→190校
3 助成金	350,000	338,138	▲ 11,862	特別会計、元校長会から
4 繰越金	1,341,130	1,341,130	0	前年度から
5 雑収入	100	20	▲ 80	預金利息等
収入合計	5,247,230	5,253,288	▲ 6,058	

【*会費内訳】

単位:円

項目	1校あたり会費	学校数	合計
公立学校割会費	16,000	128	2,048,000
県費	14,400	128	1,843,200
特別会計から	1,600	128	204,800
私立学校割会費		62	766,000
18学級以上	14,000	45	630,000
18学級未満	8,000	17	136,000
合計			2,814,000

2 支出

単位:円

項目	予算	決算	増減	備考
1 会議費	250,000	127,323	▲ 122,677	
総会費	150,000	74,523	▲ 75,477	総会関連諸経費
理事会費	100,000	52,800	▲ 47,200	会場費
2 事業費	1,620,000	808,958	▲ 811,042	
研究調査費	1,270,000	590,590	▲ 679,410	協会報、紀要作成費
研究協議会費	150,000	24,850	▲ 125,150	研究委員会会場費
広報普及費	200,000	193,518	▲ 6,482	会員名簿作成費、関東代表校長会議参加旅費
諸費	0	0	0	
3 事務局費	2,830,000	2,441,266	▲ 388,734	
旅費	10,000	0	▲ 10,000	
需用費	350,000	154,479	▲ 195,521	消耗品、コピー利用代金、光熱水費
役務費	650,000	463,038	▲ 186,962	郵送料等、コピー機リース費用含む
賃借料	1,800,000	1,808,789	▲ 8,789	10月分より光熱水費含む
備品費	20,000	14,960	▲ 5,040	職員録等
4 予備費	547,230	0	▲ 547,230	
予備費	547,230	0	▲ 547,230	
支出合計	5,247,230	3,377,547	▲ 1,869,683	

3 収支差額(収入合計－支出合計)

¥1,875,741

当期繰り越し(次年度へ)

以上の通り報告します。

令和6年3月31日

千葉県高等学校長協会 会長 横瀬 正史

上記の決算については、金銭出納簿、証拠書類、預金通帳等監査の結果、適正であることを認めます。

令和6年3月31日

千葉県高等学校長協会 監事 島崎 一広

千葉県高等学校長協会 監事 河野 安勝

令和6年度予算(案)について

【一般会計】

【一般会計】

1 収入

単位:円

項目	令和6年度	令和5年度	増減	備考
1 会費	2,808,000	2,800,000	8,000	【※会費内訳】参照
2 刊行物作成及び 定期総会等会議資料	760,000	756,000	4,000	4,000円×190校
3 助成金	350,000	350,000	0	特別会計、元校長会
4 繰越金	1,875,741	1,341,130	534,611	前年度から
5 雑収入	99	100	△1	
収入合計	5,793,840	5,247,230	546,610	【※会費内訳】

【※会費内訳】

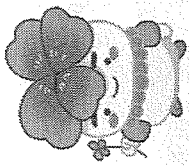
単位:円

項目	1校あたり会費	学校数	合計
公立学校割会費	16,000	128	2,048,000
県費	14,400	128	1,843,200
特別会計から	1,600	128	204,800
私立学校割会費		62	760,000
18学級以上	14,000	44	616,000
18学級未満	8,000	18	144,000
合計			2,808,000

2 支出

単位:円

項目	令和6年度	令和5年度	増減	備考
1 会議費	250,000	250,000	0	
総会費	150,000	150,000	0	総会関連諸経費
理事会費	100,000	100,000	0	会場費
2 事業費	1,790,000	1,620,000	170,000	
研究調査費	1,370,000	1,270,000	100,000	協会報、紀要作成費
研究協議会費	150,000	150,000	0	研究委員会会場費
広報普及費	270,000	200,000	70,000	会員名簿作成費
諸費	0	0	0	
3 事務局費	3,180,000	2,830,000	350,000	
旅費	60,000	10,000	50,000	R7関東千葉県開催
需用費	300,000	350,000	△50,000	消耗品、コピー利用代金
役務費	900,000	650,000	250,000	郵送料等、コピー機リース費用含む
賃借料等	1,900,000	1,800,000	100,000	家賃・光熱水費等
備品費	20,000	20,000	0	職員録等
4 予備費	573,840	547,230	26,610	
予備費	573,840	547,230	26,610	
支出合計	5,793,840	5,247,230	546,610	



千葉県子どもと親のサポートセンター

Support Center for Children & Parents

子供・保護者・教職員を元気にする

教育相談事業

- 学校生活に関すること、心や身体のこと、その他進路や適性に関すること等、個々の状況に応じて本人および保護者、教職員に対し、相談活動を通して支援・援助を行います。
- 各相談機関とのネットワークを構築し、相談者の様々なニーズに対して、より適切な支援・援助を行うための教育相談窓口とします。

種別	受付時間等	対象
電話相談	<子サポフリーダイヤル>: 24時間対応> 0120-415-446 <24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)> 0120-0-78310 ・当センターまたは千葉市教育相談ダイヤル24に接続される。	児童 生徒 職員等 保護者
来所相談	月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00 ・1回の面談は、50分間。初回のみ100分間。 ・申込みは、子サポフリーダイヤルへ(受付時間: 平日8:30～16:30)	
ワンストップ・オンライン相談	月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00 ・ホームページから事前に申し込む。1回の面談は、40分間。	
Eメール相談	sauposoudan@chiba-o.ed.jp (24時間受付)	
SNS相談	小中高生「SNS相談@ちば」 週3日実施(火)(木)(日) 18:00～22:00	小(4～6年) 中高生

学校・県民のニーズに応える

支援事業

- 子供の社会性の育成に関し、子供および保護者、子供の育成に携わる者に対する支援等を行うことにより、子供の健全な成長に役立てようとしています。
 - 市町村教育支援センター等の関係諸機関、大学、民間団体との連携を図ります。
- ◇ 学校・関係機関支援事業・・・研修会等への所員派遣/支援プログラムの提供
教育相談関係研修会等の講師の紹介
 - ◇ 不登校児童生徒支援チーム・・・学校や教育委員会への助言や支援等
 - ◇ サポート広場(センター/地域)・・・不登校の子供の安らぎの場/保護者の懇談会
 - ◇ 不登校サポートセミナー・・・子供理解や関わり方に関する講演会と個別相談
 - ◇ 進路選択サポートセミナー・・・進路に関する高校説明等の情報提供と個別相談
 - ◇ サポルーム・・・不登校経験者の個別相談/懇談会
 - ◇ わくわくチャレンジ・・・子供と保護者の野外活動
 - ◇ 教育相談ネットワーク連絡協議会・・・関係機関の効果的なネットワークづくり

学校・地域の核となるリーダーを育成する

研修事業

- 学校における生徒指導・教育相談の充実および教職員の資質力量の向上を図るため、研修内容の充実を図ります。
- 地域および校内における生徒指導・教育相談の推進者・指導者となるべき専門性と実践的なリーダー育成を目指す研修を強化します。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、訪問相談担当教員の活動の充実を図るため、研修内容の充実を図ります。
- 教職員および県民のニーズに即した研修を企画するとともに、大学、民間団体、関係機関から講師を招き連携を図ります。

- ・教育相談基礎研修
- ・教育相談上級研修
- ・教育相談コーディネーター養成研修
- ・教育相談課題別研修
- ・教育相談講演会(休日開放事業)
- ・スクールカウンセラー等全体研修・連絡協議会
- ・管理職資質向上研修
- ・生徒指導リーダー育成研修
- ・スクールソーシャルワーカー一研修
- ・訪問相談担当教員研修
- ・不登校の子供を支援する実践研修

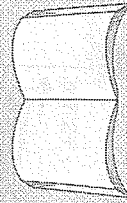
喫緊の教育課題への対応に必要な情報を提供する

調査研究事業

- 大学等関係機関との連携を図り、情報の収集・蓄積・提供に努めるとともに、支援プログラムを開発し、啓発や提言を行います。
- 生徒指導・教育相談に関し、学校のニーズに即した調査研究を推進します。

【最近の調査研究テーマ】

- ・教育支援センターの機能を生かした不登校支援の在り方について
- ・子どもの心身変化を的確に捉えた支援の在り方
- ・子どもと親のサポートセンターの業務からみてくもの
- 【学校向けツール】*ホームページからダウンロードできます
- ・教育相談自己評価シート
- ・児童生徒理解共有ツール(TAIDシート)
- ・機能的な教育相談体制チェックリスト
- ・支援教室運営の手引き(試案)
- ・若い先生のための保護者との信頼関係づくりハンドブック
- ・若い先生のための学級づくりハンドブック



子サポNo.1

※千葉県不登校児童生徒の支援資料集

不登校の未然防止から自立支援までを網羅的にまとめた資料集です。当センターホームページからもダウンロードできますので御活用ください。
(発行：千葉県教育委員会〔事務局：子どもと親のサポートセンター〕 平成30年3月)

千葉県 Support Center for Children & Parents 子どもと親のサポートセンター

組織

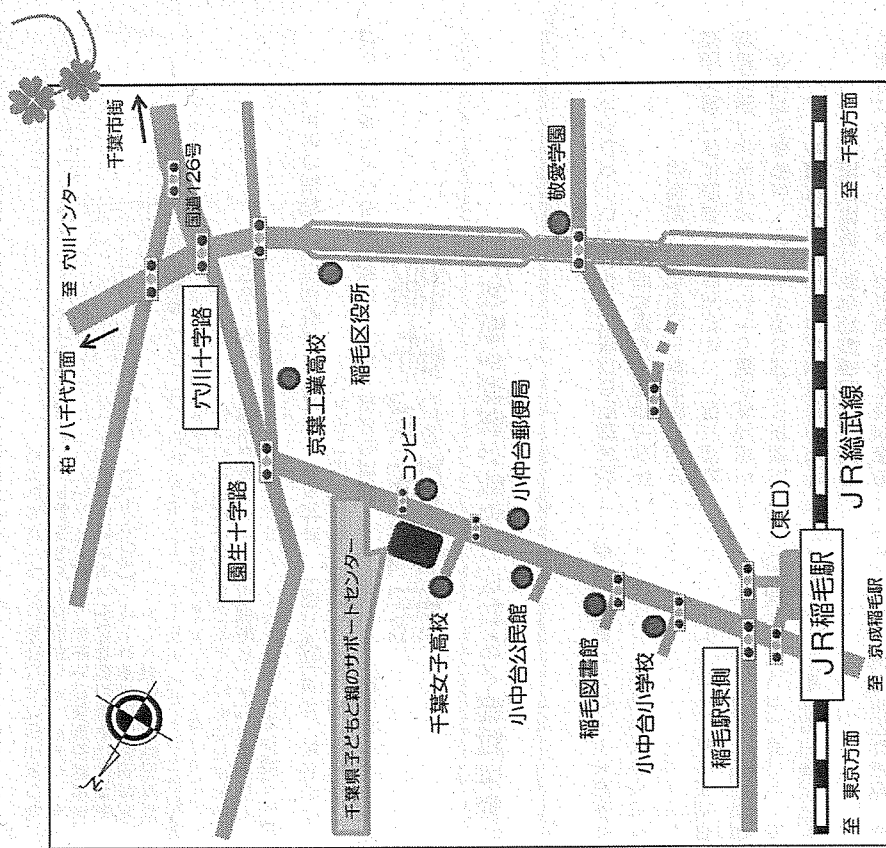
庶務課 TEL 043-207-6032
 教育相談部 TEL 043-207-6034
 支援事業部 TEL 043-207-6028
 FAX (共通) 043-207-6041

〒263-0043 千葉県稲毛区小中台 5-10-2
 E-mail saposoudan@chiba-c.ed.jp
 URL <https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>
 子どもと親のサポートセンター

二次元コード



当センターは、平成14年4月に設置された教育機関です。子供や保護者から寄せられる不登校やいじめ等の多様な相談に対応するとともに、教育関係者に対する支援を広く展開することで、児童生徒の社会性を育成し、「教育立県ちば」の実現を目指します。



JR稲毛駅から 徒歩15分

または 京成バス5分「女子高校」下車

① 番乗り場【稲01】【稲02】【稲06】

こてはし団地行、草野車庫行、いきいきプラザ行

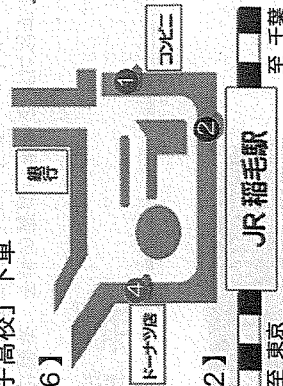
② 番乗り場【稲41】

さつきが丘団地行

④ 番乗り場【稲12】【稲21】【稲22】

ファミールハイツ折返場行、

草野車庫行



令和6年度 新規見直し事業 千葉県子どもと親のサポートセンター

目的 : 多様な相談ニーズへの対応 ・ 若者相談窓口の拡充 ・ 教職員のスキルアップ
 (背景) ・ 不登校、いじめ、自殺等の増加と未然防止に向けた取組
 ・ デジタル化社会における変化やニーズへの対応
 ・ 若者のデジタルデバイス所有とSNS利用の増加
 ・ 教職員のスキルアップや学校現場のニーズへの対応と関係機関支援

相談事業

【改善】

電話相談

- ・ 相談記録のデータベース化

【拡充】

来所相談 + (プラス)

- ・ 来所相談のオンライン対応

【拡充】

SNS相談 + P V 動画

- ・ 小学4～6年生追加
- ・ 若者向けSNSにPV動画配信

【新規】

ワストップ・オンライン相談

- ・ 若者向けWeb相談
- ・ ちばスタディネット対応

支援事業

【新規】

地域支援・市町村連携強化

- ・ プッシュ型支援(サロン形式相談)の実施
- ・ 市町村主催事業への支援

【新規】

支援事業オンライン予約の実施

- ・ サポルーム

【拡充】

進路選択のための支援

- ・ 特色ある県立高校説明動画の配信
- ・ 将来の社会的自立に向けたキャリア教育を踏まえた事業展開

研修

【新規】

研修のデジタル化

※教育相談基礎研修、教育相談課題別研修、管理職資質向上研修など

- ・ オンライン研修、eラーニング研修導入(オンデマンドで研修動画配信、ライブ配信、見逃し配信)
- ・ 校内研修、個人研修向けデジタル資料の提供

令和6年度 子どもと親のサポートセンター 新規見直し事業

対象	教育相談事業	支援事業	研修事業・調査研究事業
児童生徒向け	<ul style="list-style-type: none"> ○SNS相談 小学4年生以上 ○オンライン相談 予約受付フォームから ワンストップ・オンライン相談 ちばスタティネット相談室から 中学生向けオンライン相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校紹介動画オンテマンド配信 	
保護者向け	<ul style="list-style-type: none"> ○来所相談+ (プラス) 来所困難時にオンライン相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○サポルーム予約受付 	
教職員向け	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○ケース会議・サロン相談 不登校児童生徒支援チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン研修 教育相談基礎研修 教育相談課題別研修 ○オンテマンド配信 教育相談基礎研修動画 管理職資質向上研修動画 教育相談初期対応動画配信
関係機関向け	<ul style="list-style-type: none"> ○教育職員等による児童生徒 性暴力等の防止等に関する 対策事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン会議 教育相談ネットワーク連絡協議会 不登校サポートセミナー ○市町村教育支援センター支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールソーシャルワーカー研修

「ワンストップ・オンライン相談」

若者向け相談先のニーズが高まり、デジタル化に対応した新たな相談方法として開設した。ホームページの予約フォームで予約し、Zoomアプリを利用して40分間相談ができる。連絡先以外の個人情報は不要で、顔や声を出さずにチャットで対話ができる。空きコマがあれば即時対応も可能である。専任の相談員が担当する。

「ちばスタティネット」

不登校児童生徒の教育機会を確保するため、県総合教育センターから各教科の授業をオンライン配信する。令和6年度は中学生が対象で、一人一台学習用端末からアクセスする。普通教室以外に教育相談室もあり、ワンストップ・オンライン相談で相談を受け付ける。

令和6年度 千葉県子どもと親のサポートセンターの事業

■教育相談事業■

1 相談の種類

種別	受付時間等	対象
電話相談	<子サポフリーダイヤル：24時間対応> 0120-415-446 <24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)> 0120-0-78310 ・当センター又は千葉市教育相談ダイヤル24に接続される。	児童生徒 保護者 教職員 等
来所相談	月～金 9:00～12:00/13:00～17:00 ・1回の面談は、50分間。初回のみ50分間×2。 ・新規来所相談の申込みは、子サポフリーダイヤルで事前に申し込む。(受付時間：平日8:30～16:30)	
ワンストップ ・オンライン 相談	月～金 9:00～12:00/13:00～17:00 ・新規申込みは、ホームページから事前に申し込む。 ・1回の面談は、40分間。	
Eメール相談	saposoudan@chiba-c.ed.jp (24時間受付)	
SNS相談	小中高生「SNS相談@ちば」 週3日実施 (火)(木)(日) 18:00～22:00	小(4～6年) 中高生

2 令和5年度の相談状況

(1) 月別相談状況

相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	1,108	1,018	993	837	779	934	941	972	769	879	772		10,002
前年度	1,002	1,066	1,347	912	1,198	1,140	855	823	702	761	916		10,722
来所	443	502	562	490	451	500	529	568	566	529	536		5,676
前年度	443	492	578	575	486	524	575	572	562	546	559		5,912
FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
Eメール	11	20	20	19	7	25	14	18	18	19	12		183
前年度	29	17	20	19	18	26	8	13	22	11	22		205
SNS	324	312	151	151	272	269	634	318	292	353	218		3,294
前年度	475	308	194	173	128	227	136	100	215	105	89		2,150
合計	1,886	1,852	1,726	1,497	1,509	1,728	2,118	1,876	1,645	1,780	1,538	0	19,155
前年度	1,949	1,883	2,139	1,679	1,830	1,917	1,574	1,508	1,501	1,424	1,586	0	18,990

(2) 相談内容

ア 電話相談(4月～2月)多い順

※電話相談総数 10,002 件から無言ためらい 1,497 件を差引いて 8,505 件を元に割合を計算しています。
(※前年度総数 10,722 件から無言ためらい 916 件を差引いて 9,806 件を元に割合を計算しています。)

	内容	件数	割合
1	子育て・しつけ	1,346	15.8%
2	不登校・不登校傾向	993	11.7%
3	家庭問題関係	678	8.0%
4	友人関係	617	7.0%
5	教職員との関係	570	6.7%
	いじめ	383	4.5%

	前年度の内容	件数	割合
1	子育て・しつけ	1,224	14.5%
2	不登校・不登校傾向	927	11.0%
3	友人関係	704	8.3%
4	いじめ	697	8.2%
5	家庭問題関係	595	7.0%

イ 来所相談(4月～2月)多い順

	内容	延べ回数	割合
1	不登校・不登校傾向	3,387	59.7%
2	適応への援助	1,034	18.2%
3	障害・疑い	458	8.1%
4	神経症・疑い	233	4.1%
5	家庭問題関係	143	2.5%

	前年度の内容	延べ回数	割合
1	不登校・不登校傾向	3,649	61.7%
2	適応への援助	906	15.3%
3	障害・疑い	648	11.0%
4	家庭問題関係	175	3.0%
5	子育て・しつけ	105	1.8%

■新規事業■

<若者向け相談窓口を新たに設置>

ワンストップ・オンライン相談

子どもと親のサポートセンターでは、若者向け相談窓口として電話相談、メール相談、SNS相談がある。どの相談ともつながっていない若者向けに、スマートフォンからアクセスできる新たな相談窓口を設置し、オンライン相談を受け付ける。ちばスタディネット教育相談室とも連携。

- ◇対象 千葉県在住、在学の十代の若者
小学4年生から高校3年生くらいまで 若年無業者を含む
- ◇内容 相談時間
月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
1回40分、1日7コマ以上
相談時利用アプリ Zoom アプリ (フリー)
- ◇申請手順 子どもと親のサポートセンターホームページで1か月前から Web 予約受付

SNS 相談 対象者拡大

これまで、中高生を対象としていたが、小学校の問題行動の増加を受け、小学4年生以上に対象者を拡大した。小学4年生以上のスマートフォン占有率は90%に迫っており、LINE の利用率も90%を超えていることから、先生や保護者に相談できない悩みや不安を相談できる窓口を設置した。これは、小学生のLINE 利用を推奨するものではなく、保護者同意の上とする条件付きとなる。

<遠方在住者や引きこもり生徒、感染症など来所困難者向け対策>

来所相談+ (プラス)

来所相談のうち、何らかの事情で来所できない場合にオンライン相談を利用する補助機能。デジタル化が急速に進む社会情勢や生活様式の変化に合わせ、県民向けサービスの利便性向上のため、Zoom アプリを使用し、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの画面を通して相談する。来所一オンラインの併用可。フルオンラインも可。

- ◇対象 千葉県在住、在学の児童生徒、保護者など
- ◇内容 相談時間
月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
1回40分、1日7コマ以上
相談時利用アプリ Zoom アプリ (フリー)
- ◇申請手順 子サポフリーダイヤル(0120-415-446)から来所相談を申し込み、受理会議を経て担当者を決定し、来所相談を開始する。

★詳しくは、右の二次元コードから当センターホームページまで★



■支援事業■ ※感染症の感染状況により事業内容の変更が生じる場合があります。

<学校・関係機関に対する支援>

学校・関係機関支援（研修会等への所員の派遣／教育相談関係研修会等の講師紹介等）

学校や教育関係機関等が抱える生徒指導上の諸課題の解決を支援するため、所員を派遣し、必要な援助、指導・助言を行う。

◇対象 県内（千葉市立を除く）の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校
県内の高等学校・特別支援学校

県内（千葉市を除く）の教育に関わる機関や組織（教育団体等）
※教育相談研修講師等紹介については、千葉市と私立学校も対象

◇内容 ・いじめなど問題行動に関する事例（関係機関との連携）
・不登校に関する事例（研修会、事例検討会）
・行動面の不応にに関する事例（児童生徒観察、事例検討会）
・学級がうまく機能しない事例（研修会）
・その他、生徒指導に関する事例（支援プログラムの提供）

◇申請手順 1 当センター支援事業部に電話連絡 ☎043-207-6028
2 申請書提出（詳細・様式は、当センターのホームページからダウンロード）

不登校児童生徒支援チーム（学校や教育委員会への助言や支援等）

不登校の長期化等により対応が困難なケースに関して、千葉市を除く市町村教育委員会や県（公）・私立学校の不登校支援体制の助言・支援等を行います。不登校児童生徒支援関係者による会議等で支援対応策について検討し、助言・支援・指導等に当たることにより、県内の不登校支援のより一層の充実を図ります。要請に応じて課題解決へ向けた支援だけでなく、今後は各地域に積極的に出向き不登校の早期対応のために、市町村教育支援センターを拠点として、市町村と連携をしたプッシュ型支援を展開します。

◇年間80日実施

◇問合せ ☎043-207-6028（支援事業部直通）

教育相談ネットワーク連絡協議会（関係機関の効果的なネットワークづくり）

事例研究協議や研修等によって担当者や指導員の資質・力量の向上を図る。

◇対象（全体会は①～④、地区開催は①～⑪を対象とする）

①教育事務所担当指導主事

②市町村教育委員会担当者・教育支援センター担当者

③訪問相談担当教員

④スクールソーシャルワーカー

⑤教育事務所スクールカウンセラースーパーバイザー

⑥教育事務所及び市町村教育委員会教育支援センター指導員・相談員等

⑦不登校児童生徒支援推進校職員（支援教室担当者等）

⑧不登校に課題を抱えている学校職員等

⑨特別支援教育コーディネーター

⑩児童相談所児童福祉司・市町村児童福祉担当者等

⑪その他

	地区	期日	会場	講師
	全体会	5月23日(木)	県総合教育センター	元東京成徳大学 特任教授 徳山 美知代
第1回	葛南	6月28日(金)	浜町公民館	千葉大学 准教授 磯邊 聡
	東葛飾	8月22日(木)	さわやかちば県民プラザ	東京家政大学 教授 杉山 雅宏
	北総	6月14日(金)	印旛教育会館	北総教育事務所 SCSV 山崎 さなえ
	東上総	6月7日(金)	睦沢ゆうあい館	家族・子育て相談室「ゆずり葉」、不登校専門サポート「☆Wish」代表 後藤 弘美
	南房総	6月21日(金)	オンライン	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 主任心理療法士 三原 聡子
第2回	葛南	12月6日(金)	浜町公民館	千葉大学 グラウンドフェロー 保坂 亨
	東葛飾	11月14日(木)	さわやかちば県民プラザ	やまびこ心理教育研究所 所長 小柴 孝子
	北総	11月15日(金)	香取合同庁舎	東京経営短期大学 特任准教授 上條 理恵
	東上総	1月28日(火)	睦沢ゆうあい館	不登校児童生徒支援チーム
	南房総	12月5日(木)	君津教育会館	南房総教育事務所 SCSV 京谷 幸一

※SCSV…スクールカウンセラースーパーバイザー

<県民対象の事業>

サポート広場（不登校の子供の安らぎの場／保護者の懇談会）

ものづくりや軽スポーツ等の集団活動をとおして、不登校の子供の社会性の育成を図る。
保護者は懇談会等をとおして、不登校への理解を深め、子供の支援を共に考える。

◇対象 県内の不登校の子供とその保護者等

◇時間 13時30分～15時50分

◇申込み ☎043-207-6028（支援事業部直通 平日8時30分～17時）

※要予約

◇子サボ開催（会場：子どもと親のサポートセンター）※講師によるミニセミナーあり

6月17日(月)	ミニセミナーⅠ（講師 文教大学 教授 会沢 信彦）
8月27日(火)	ミニセミナーⅡ（講師 聖徳大学 教授 山口 豊一）
10月17日(木)	ミニセミナーⅢ（講師 親業訓練協会 シニアインストラクター 富澤 優江）
12月3日(火)	ミニセミナーⅣ（講師 千葉大学 准教授 磯邊 聡）
2月6日(木)	ミニセミナーⅤ（講師 千葉県SCSV 木戸秋 明男）

※SCSV…スクールカウンセラースーパーバイザー

◇地域開催（会場：下表のとおり）※6/8（鴨川市）のみ13時～15時

6月6日(木)	(鴨川市) 西条公民館	6月11日(火)	(野田市) 野田市青少年センター
6月25日(火)	(八千代市) 文化伝承館	9月12日(木)	(多古町) コミュニティプラザ
9月19日(木)	(長生村) 長生村交流センター	9月27日(金)	(旭市) 海上公民館
10月9日(水)	(鎌ヶ谷市) まなびいプラザ	10月22日(火)	(山武市) 山武教育会館
11月7日(木)	(君津市) 生涯学習交流センター	11月28日(木)	(佐倉市) 佐倉市中央公民館

不登校サポートセミナー（子供理解や関わり方に関する講演会と個別相談）

不登校等の様々な課題を解決するため、発達に即した子供の理解を深め、よりよい関わり方を考えるためのセミナー。

◇対象 県内の子供をもつ保護者、支援に携わる方等

◇申込み 当センターのホームページまたは電話

☎043-207-6028（支援事業部直通 平日8時30分～17時）

回	日時	会場・定員	内容等
1	5月14日(火) 10時～16時	子どもと親の サポートセンター 定員 50名	〈第1部〉 講師 親業訓練協会 シニアスタッフ 内田 智代 〈第2部〉 個別相談（子サポ所員、不登校経験者による）
2	7月 8日(月) 10時～16時	子どもと親の サポートセンター 定員 50名	〈第1部〉 講師 ころの育ちクリニック 院長 小川 恵 〈第2部〉 個別相談（子サポ所員、不登校経験者による）
3	11月 2日(土) 10時～16時	県総合教育 センター 定員 200名	〈第1部〉 講師 千葉大学子どものころの発達教育研究センター 特任講師 浦尾 悠子 〈第2部〉 個別相談（子サポ所員、不登校経験者による）
4	1月18日(土) 10時～16時	子どもと親の サポートセンター 定員 50名	〈第1部〉 講師 淑徳大学 教授 稲垣 美加子 〈第2部〉 個別相談（子サポ所員、不登校経験者による）

※第3回は、名称を「千葉県・千葉市不登校サポートセミナー」とし、千葉市と共催で実施する。

進路選択サポートセミナー（不登校からの進路に関する情報提供と個別相談）

中学校卒業後の進路に関する情報を提供し、不登校の子供とその保護者が進路を選択する際の一助とするセミナー。特色ある県立高等学校の動画の配信や将来の社会的自立に向けたキャリア教育を踏まえた内容の視点をでの講話を取り入れます。

◇対象 県内の不登校の児童生徒、保護者、支援に携わる方等

◇申込み 当センターのホームページまたは電話

☎043-207-6028（支援事業部直通 平日8時30分～17時）

回	日時	会場・定員	内容
1	8月 8日(木) 13時30分～16時30分	(市原市) 市原市教育センター 定員 35名	〈第1部〉 ・中学校卒業後からの進路選択に関する 全体ガイダンス ・高等学校による学校説明 〈第2部〉 ・高等学校による個別相談 ・所員・不登校経験者による個別相談
2	9月 7日(土) 10時～16時30分	(千葉市) 県総合教育センター 定員 200名	
3	9月20日(金) 13時30分～16時30分	(銚子市) 勤労コミュニティプラザ 定員 30名	
4	9月25日(水) 13時30分～16時30分	(船橋市) 船橋市総合教育センター 定員 80名	
5	10月10日(木) 13時30分～16時30分	(いすみ市) いすみ市岬公民館 定員 50名	
6	10月23日(水) 13時30分～16時30分	(佐倉市) 佐倉市中央公民館 定員 50名	
7	11月 1日(金) 13時30分～16時30分	(流山市) 流山市おおたかの森センター 定員 80名	
8	11月12日(火) 13時30分～16時30分	(市川市) 市川市教育センター 定員 80名	

サポルーム（不登校経験者および所員による個別相談／懇談会）

不登校経験者や保護者の立場での不登校経験者及び所員が、子供や保護者等の相談に応じます。

当センターの相談・支援に特化した教育機関として、これまで蓄積してきたノウハウを県全体に共有します。地域に出向き、保護者懇談会のファシリテーターとして買いを進行するなど様々な方法により市町村教育委員会との連携強化を図り、センター的機能を発揮していきます。今年度からはオンライン予約を実施します。

◇対象 県内の不登校の子供とその保護者等

◇時間 10時～16時30分（予定は当センターホームページに掲載）

◇会場 子どもと親のサポートセンター

◇申込み 当センターのホームページ web 予約または電話（要予約・当日申込みも可）

☎043-207-6028（支援事業部直通 平日8時30分～17時）

■研修事業■ ※非常変災時等により事業内容の変更が生じる場合があります。

<教員対象の研修>

管理職資質向上研修（いじめ防止、自殺予防、不登校児童生徒支援）（悉皆）

- ・いじめ問題の理解、いじめの未然防止、早期発見、迅速かつ適切な対応等について研修することにより、学校におけるいじめ防止対策の一層の充実を図る。
- ・児童生徒の自殺予防に関する国や県の取組及び具体的な教職員による予防対策や児童生徒への予防教育、さらに自殺が起きてしまったときの対応について研修することにより、児童生徒の自殺予防対策の一層の充実を図る。
- ・学校内の支援体制や教育支援センター等様々な関係機関との連携、個々の児童生徒の特性に着目した支援方法について研修することにより、不登校児童生徒への支援の充実を図る。

◇対象 小・中・義務教育・高等・特別支援学校の管理職 約1,200名

◇期日・会場 1組【葛南・東上総・南房総】：7月 3日（水）千葉市民会館

2組【東葛飾・北総・特別支援学校】：7月 4日（木）千葉市民会館

3組【高等学校(全日制・定時制課程)】：7月12日（金）県総合教育センター

◇申込方法 Plant（第1期）

生徒指導リーダー育成研修（推薦）

48名

※会場を県総合教育センターにて、学校種の組分けを行わずに実施する。

不登校の子供を支援する実践研修（希望）

30名

※定員を30名に増員して実施する。

教育相談基礎研修（希望）

各組50名

※定員を各組50名に増員し、研修動画を視聴するeラーニング研修を夏休み前に実施する。

※研修動画は、校内研修や自主研修でも利用可とする。（6月17日～7月31日）

※「構成的グループエンカウンター」「インシデントプロセスを用いた事例研究」「面接の講義演習」は、夏休みに1日のみ対面研修として実施する。

※夏休み明けの講話協議演習は、オンライン研修として実施する。（9月18日・19日）

教育相談上級研修1組・2組（希望）

各組24名

※教育相談基礎研修、教育相談課題別研修（2講座以上）、県または各市町村教育委員会主催の教育相談関連講座あるいは生徒指導関連講座を修了すると、「教育相談上級研修」を受講することができる。

教育相談コーディネーター養成研修（推薦）

35名

※定員を30名に増員して実施する。

教育相談課題別研修1～6（希望） 各組 対面研修48名、オンデマンド研修52名

※定員を対面研修48名、オンデマンド研修（8月19日～9月30日）52名に増員して実施する。

<教職員・県民対象の研修>

教育相談講演会1・2（休日開放事業）

各120名

- ※ 6月 8日（土）「不登校の子供に対する親の向き合い方を考える」
和光大学現代人間学部心理教育学科 教授 高坂 康雅 氏
- ※11月30日（土）「子どもの理解を深める」
学会会木村病院 医師 松木 悟志 氏

■調査研究事業■

◎最近の調査研究テーマ

「不登校の子どもの心身変化を的確に捉えた支援の在り方
～子どもと親のサポートセンターの実践からみえてくるもの～（令和5～6年度）

「教育支援センターの機能を生かした不登校支援の在り方について」（令和4～5年度）

◎学校向けツール

- ・教育相談自己評価シート（機能的な教育相談体制チェックリスト）
- ・TAIOシート（児童生徒理解共有ツール）
- ・支援教室運営の手引き（試案）
- ・若い先生のための保護者と信頼関係づくりハンドブック
- ・若い先生のための学級づくりハンドブック
- ・見立てシート／気になる児童生徒チェックシート

当センターのホームページから
ダウンロードできます。

■教員向け活用ガイド■

千葉県版不登校児童生徒の支援資料集 ～千葉県教育委員会～

※支援資料の特長や各種研修での活用の仕方を例として記載されています。
（千葉県教育委員会・子サポホームページからダウンロードできます。）

不登校児童生徒支援チーム

○支援チームを派遣し、専門的な視点で、学校・子ども・家庭を支援します！

〈支援チームの構成員〉

- ・スクールソーシャルワーカースーパーバイザー
- ・スクールカウンセラースーパーバイザー
- ・不登校児童生徒支援専門指導員
- ・子どもと親のサポートセンター指導主事

ご活用ください！

【派遣申請書の提出の流れ】 ※申請書の提出はメールでお願いします！

☆市町村立（千葉市立を除く）の小・中・高・義務教育学校 → 市町村教委 → 子サポ

☆県立の中学校・高等学校・特別支援学校、教育事務所など → 子サポ

☆市町村教育委員会 → 子サポ

☆私立の小・中・高等学校 → 県総務部学事課 → 子サポ

未然防止

初期対応

自立支援

研 修	ケース会議・少人数検討	支 援
学校と打ち合わせの上、研修を行います。（少人数や短時間也可） ・「不登校の未然防止と初期対応」 ・「長期的な視点に基づいた支援」 など	先生方と支援チームが、複数の視点で支援の検討をします。 ・今できること、中長期の展望 ・関係機関も含め、具体策を探る など	学校や関係機関と連絡を取り合い、支え方を工夫していきます。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関等との連携 ・成長への展望 など

児童や保護者にどのようにアプローチしていくか、現時点での成果や課題等が明確になった。（中学校）

実施報告書から ～活用後の声～

具体的な助言をたくさんいただけたので、学校としての支援の方向性を決めることができた。（小学校）

ケース会議で2つの事例について検討したことで、学校全体で取り組むきっかけとなった。（高等学校）

ケース会議での助言を生かして、生徒や保護者に継続的に働きかけたところ、少しずつだが進展が見られてきた。（中学校）

架空事例の検討を通して、複数の視点での支援や関係機関との連携について学ぶことができた。（市教育委員会）

【問合せ】 **まずは、電話にてお気軽にお問合せください！！**

千葉県子どもと親のサポートセンター 支援事業部

TEL 043-207-6028 FAX 043-207-6041





こういうときに
役立ちます



クラスの子が
休み始めたとき
どうすれば良いですか

不登校の対応、こういう
ケースではどんな手立てが
ありますか

事例を使って校内研修
をしたいのですが

など



この資料集は、本編と資料編、コラムで構成されています

現状と 基礎知識

第Ⅰ章 長期欠席と不登校等の現状

第Ⅱ章 千葉県教育委員会の取組

不登校に関する文部科学省と千葉県のデータ・千葉県教育委員会の取組

未然防止

第Ⅲ章 新たな不登校を生まないために

「不登校はどの児童生徒にも起こり得る」ことを踏まえた未然防止の取組

初期対応

第Ⅳ章 初期対応（早期発見・早期対応）

早期発見のための取組やポイント・休み始めの対応など

自立支援

第Ⅴ章 自立支援

長期欠席・不登校の様々なケースについての具体的な対応例
社会的自立に向けた支援など

資料編 「児童生徒理解・教育支援シート（試案）」「見立てシート」など

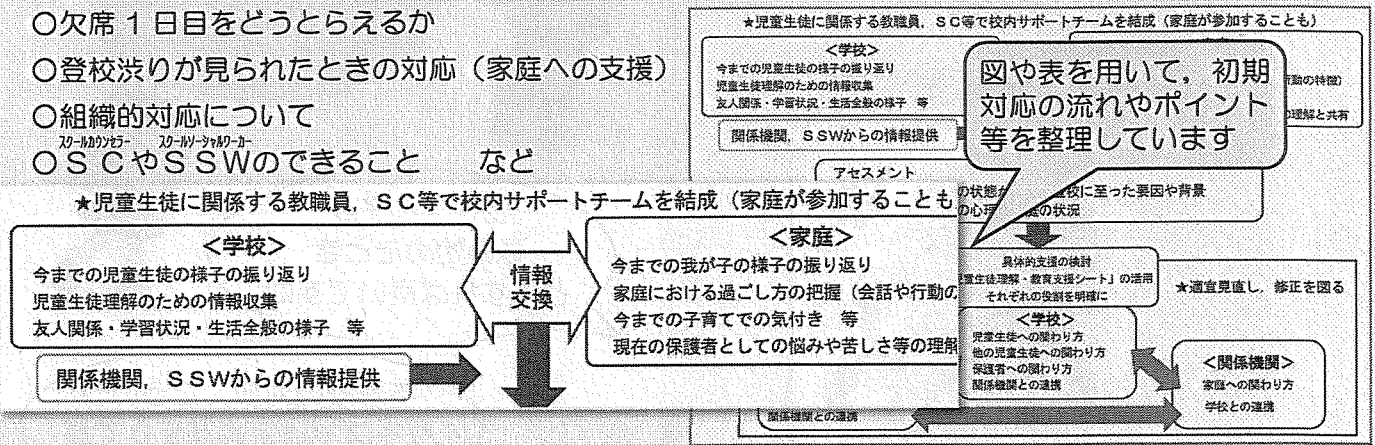
コラム 「長期欠席と不登校」「学校における有効なケース会議の持ち方」など

こんな場面で使えます

◎クラスの子どもが休み始めました。どうすれば良いですか？

学校を休みそうな児童生徒への対応を含めて、初期対応の流れやポイント等を解説しています。知りたい内容に応じて、各節を参照してください。(⇒P50~P66)

- 欠席1日目をどうとらえるか
- 登校渋りが見られたときの対応(家庭への支援)
- 組織的対応について
- SCやSSWのできること など



◎保護者とはどのように連携すれば良いですか？

第三章(例:左下図P34)では日頃からの保護者との信頼関係づくり等について、第四章(例:右下図P57)・第五章では個別事例での対応例等について具体的に紹介しています。

③ 保護者との関わり方<具体例>

③ 保護者との関わり方<具体例>

以下では、訪問相談担当教員(P7参照)の紹介をします。

ア 電話では双方向の情報交換を保護者が学校からの電話を前向きに捉えるためにも、双方向の情報交換を心掛けるようにして、児童生徒の頑張りを意識して伝え、日頃からの信頼関係を積み重ねていくようにします。

訪問相談担当教員(資料集P7参照)の実践を踏まえて、保護者との関わり方のヒントを紹介しています

・「家庭訪問と来校」のどちらが良いか、事前に保護者の意向を問うことも必要

② 過去に不登校や、登校渋りを経験している児童生徒に対して

不安要因・タイミング別に対応例を紹介しています

不安要因	進級・進学タイミング
人間関係	家庭からの児童生徒の友人関係などについての情報を基に、学級編成を検討する

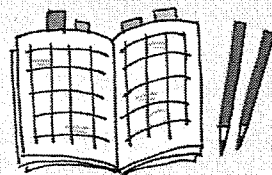
家庭訪問の留意点を掲載しています

参考 不登校の児童生徒宅へ家庭訪問する際、不登校の児童生徒宅へ家庭訪問する際、以下に留意すること

◎要因別の対応のヒントが欲しいのですが...

要因別に対応例を詳しく掲載しています。(⇒P70~P88)

- 掲載している要因別ケース
- 「無気力」「いじめ」「非行傾向」「発達障害」
- 「家庭に係る要因(経済的な問題)」
- 「家庭に係る要因(児童虐待)」
- 「こころの病気が疑われる場合」
- 「ひきこもり傾向」
- 「自殺をほのめかした場合」
- 「意図的な欠席」
- 「居所不明」



(2) いじめ

～事例～ 小学6年生
9月以降、断続的に欠席

対応例

事例の概要

対応例の紹介

専門用語の解説

大切なポイントをまとめています

【対応のポイント】

- ◇いじめがあったことをしっかり
- ◇被害児童の安全・安心を守る

※PTSD 心的外傷後ストレス障害 (Stress Disorder) の発生

実際の危険にあつた体験

◎再登校するときのポイントはありますか？

学校復帰に向けての働き掛けや再登校の準備、再登校当日の対応とその後のフォローについて、具体例もあげてポイントをまとめています。(⇒P94~P97)

資料集では、別室登校における留意点や、千葉県の取組である不登校対策推進校「校内不登校児童生徒支援教室」における実践例も紹介しています。別室登校や支援教室の運営についてより詳しく知りたいときは、資料集と併せて、子どもと親のサポートセンターの作成した「支援教室運営の手引き(試案)」(サポートセンターホームページに掲載)も参考にしてください。

(2) 再登校前日までの準備

再登校にあたっては、思いが湧き出て来られるよう配慮するとともに、徐々に学校生活への復帰を促すような指導上の工夫が大切です。そのためには、児童生徒の状況や学校の状況がより理解し、支援体制を整えておくことも大切です。

受入体制の検討

安心して居場所の確保 学級に意しておきましょう。(例：保健室)

再登校の準備について教職員間で共通理解を図れるように、ポイントを整理しています

◎進路選択について情報が欲しいのですが...

特色ある県立高等学校として「地域連携アクティブスクール」「定時制」「三部制定時制」「通信制」を紹介するとともに、それ以外の進路についても幅広く取り上げています。(⇒P106~P113)

- 広域通信制高等学校とサポート校
- 高等学校卒業程度認定試験
- 転退学時の対応
- 就労への支援(サポステ・ハローワーク)

特色ある県立高等学校について、特徴的な取組や日課表、卒業生の声などを掲載しています

理解できる授業の工夫
・習熟度別授業(1,2年生に合わせた基礎)
・チームティーチング

研修で使えます

◎事例を使って校内研修を行う

<研修の流れの例> 60分の想定

時間(分)	研修内容	留意点
5	1 資料集の「事例」を読み、必要な情報を整理する。	⇒質問を受ける事例提供担当者を決め、事例における詳細な想定を考慮しておくが良い。
10	2 少人数(5人程度)のグループをつくり、対応のポイントや留意点、具体的な支援方法を話し合う。	⇒模造紙や付箋を使うとまとめやすい。
15	3 出てきた意見をグループ毎にまとめ、発表する。	
2	4 資料集の「対応のポイント」を配付して各自読む。	
15	5 自分たちが話し合った内容と照らし合わせながら、気付いた点や地域にある関係機関などについてグループで話し合う。また、各自で「キーワード」を検索して得た情報も参考にする。	⇒ポイント例が全てではなく、ほかにも地域にある資源を活用する等の意見を尊重する。
10	6 「対応のポイント」から気付いた点について、グループ毎に発表し、全体で話し合う。	⇒参加者が実際の事例で行った対応についての話が聞けると良い。
3	7 研修のまとめをする。(振り返り)	

○要因が複数考えられるケース(⇒P90~P93) *実際の資料集では事例と対応のポイントが見開きになっています

(11) 要因が複数考えられるケース ~事例~

事例1

A子は小学5年生の
なったことから疎外感

事例の概要

対応のポイント例を紹介
ここに記載している
以外のポイントも
考えられます

事例1~対応のポイント

<考えられる不登校の要因>

○「学校における人間関係」

◇進級時や学級担任が替わ

キーワード

「ネットいじめ」

不登校の要因として
推測されるものを整理

「キーワード」は、インターネットで関連する情報を検索する際に活用してください

◎各節をヒントに研究協議で理解を深める

教材とするページを読んで共通理解を図った上で、
テーマを決めてグループで話し合う

- ＜協議テーマ例＞ 右図（初期対応P54）の場合
- 「不登校経験あり」の児童生徒の場合と「不登校経験なし」の児童生徒の場合、欠席1日目の対応でそれぞれ留意すべき点は？
 - 年度当初の欠席と年度末の欠席では、対応にどのような違いがあるか？

グループ毎に発表する

紹介されている文献を資料として配付する
（インターネットでダウンロード可能な文献を多数紹介しています）

資料を読んで気付いたことを話し合う

テーマに応じて、SCやSSWを講師に招き、助言を得てもよいでしょう。子どもと親のサポートセンターの「学校支援事業」や「スクールアドバイザー事業」を活用し、センター所員や大学教授等を講師として呼ぶこともできます（詳細はサポートセンターホームページで）。

IV 初期対応（早期発見・早期対応） 3 初期対応のポイント

（1）初期対応の流れ

＜欠席1日目をどのようにとらえるか＞

欠席1日目 欠席が1日でも理由が明確ではな
を取り（可能であれば家庭訪問）

電話連絡や家庭訪問の準備

資料集では、本編に掲載しきれなかった内容等について参考資料を紹介しています
これらを参照することで、より理解が深まります

参考となる資料

- 「中1不登校生

◎教育相談の面接練習（ロールプレイ）の素材として

教材とするページを読んで共通理解を図った上で、
ロールプレイを行う

＜実施例＞ 右図（P51）の場合

- 1 2人1組になり、教職員役・児童生徒役の役割分担を決める。
- 2 児童生徒役の悩み（資料集掲載の事例を使ってもよい）について、教育相談の面接のつもりで話を聴く。（5分経ったら役を交代）
- 3 両方が教職員役をやったら、お互いに気付いたことを話し合う。

聴き方

- ・児童生徒の話は最後まで聴きます（話の途中で）
- ・話を聴いてあげるといふ姿勢ではなく、児童生徒
- ・腕や足を組んで話を聴くことはしないようにし

- 返え方
- ・「でも」や「しかし」は相手を否定する印象を与えるため、使用を控えます
 - ・「でも」「しかし」⇒（腕）「それで」「それから」
 - ・相槌やうなずきだけをすることも必要ですが、児童生徒が弱った内容についてはフィードバックを行います
- （例）児童「今日は午前中、園い中運動会の練習をして疲れたんだ」
教職員「今日は午前中、園い中運動会の練習をして疲れたんだね」
フィードバックが効果的であると聞いてもらってほしいという目的をもちます

参考 教育相談週間の実践例や面接の方法について

- ・「教育相談機能を活かした教育相談実践事例」
- ・「若い先生のための学級づくりハンドブック」

資料集の関係するページや、紹介されている文献を資料として配付する

資料を参照しながらロールプレイの内容についてグループで話し合い、発表して参加者間で共有する

こんな使い方も



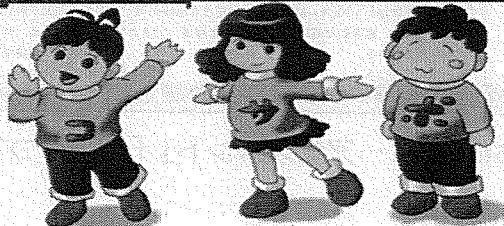
第三章には不登校の未然防止の視点から、魅力ある学級づくりや「わかる授業」づくり等、日頃の学級経営や学習指導等でも参考となる情報が掲載されています。是非日々の業務の中で活用してください。

- ◎朝の打ち合わせで抜粋を配付
- ◎週報や学年便りに引用
- など

千葉県版不登校児童生徒の支援資料集は、千葉県教育委員会及び子どもと親のサポートセンターのホームページからダウンロードできます [千葉県版不登校児童生徒の支援資料集](#)

教育相談自己評価シートを ご活用ください

教育相談自己評価シートは、自身の教育相談に現状把握をし、自己研鑽を進めるきっかけとすることができます。また、学校全体で実施をすることで、校内の現状把握や研修の企画に役立てられるツールであり、教育相談体制構築の一助とするために作成しました。



【チェックシート】

教育相談自己評価シートには
 ● チェックシート
 ● アドバイスシート
 ● 集計シート
 が入っています。

【アドバイスシート】

NO	教育相談のポイント
1	教育相談は特定の人間、特定の場所、決められた時間で行われるわけではないことをご認識していますか。
2	「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」という生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりをしていますか。
3	学年、学年で人間関係づくり(グループエンカウンターなど)に関する授業実践をしていますか。
4	児童生徒の変化に気づく視点をもって指導していますか。
5	登校時、授業開始時に担任及び授業担当学年全員の様子を確認していますか。
6	コミュニケーションの平等性に配慮していますか。
7	自身が関わる児童生徒の基本情報や家庭環境を把握していますか。(学年、学級、授業、部活など)
8	保護者宛て連絡の必要性を意識していますか。
9	生徒指導上の諸問題を抱え込まずに学年主任、養護教諭、SC、管理職などへの連絡、報告を行っていますか。

まずは自己の現状を点数化

自身の苦手を確認

NO	評価を定める基準
4	【児童生徒への気づきの視点】 <input type="checkbox"/> 体調の変化 <input type="checkbox"/> 言動や表情(感情の起伏) <input type="checkbox"/> 学力(成績の低下) <input type="checkbox"/> 帰りがたがる、帰りがたらない <input type="checkbox"/> 欠席 <input type="checkbox"/> 生活リズムの変化(睡眠、食事等) <input type="checkbox"/> 仲間関係(対人関係) <input type="checkbox"/> 休み時間の過ごし方 <input type="checkbox"/> 持ち物(忘れ物、紛失) <input type="checkbox"/> 人との距離感(依存、離脱傾向等)
11	【死の可能性を感じたら・・・】 (1) Tell : 言葉に出して心配していることを伝える (2) Ask : 「死にたい」という気持ちについて、率直に尋ねる (3) Listen : 絶望的な気持ちを傾聴する (4) keep safe : 安全を確保する

*医療連携(養護教諭、学校医)を図る、地域機関病院の確認をすることも必要

【集計シート】

校内の教員分を集計することで現状やニーズの把握ができる
 →校内研修の企画・運営

いなげ市立子サポ学校												
NO	教育相談のポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
1	教育相談は特定の人間、特定の場所、決められた時間で行われるわけではないことを知っていますか。	3	3	5	5	5	3	5	5	5	5	4.4
2	「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」という生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりをしていますか。	3	3	3	3	3	3	3	5	3	5	3.4
3	学年、学年で人間関係づくり(グループエンカウンターなど)に関する授業実践をしていますか。	3	3	3	3	3	3	3	0	3	0	2.4
4	児童生徒の変化に気づく視点をもって指導していますか。	3	3	5	3	3	3	3	5	3	5	3.6
5	登校時、授業開始時に担任及び授業担当学年全員の様子を確認していますか。	5	5	5	5	3	3	5	5	3	5	4.4

千葉県子どもと親のサポートセンター043-207-6034【教育相談部】

ホームページ内(調査研究事業)に掲載しています。ダウンロードし、ご活用ください。



「TAIOシート」を使って、 生徒指導・教育相談の充実を図りませんか？



1 「TAIOシート」とは

・「TAIOシート」は、気になる子どもへの「気づき」と、その子どもへの「支援」と「見立て」の3つを、スタッフ全員で記録、共有できるシートです。

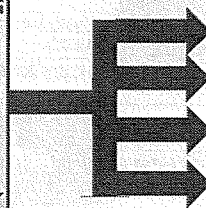
K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V	
日付		年組		生徒名		記入者		分類		気づき(K) 内容(状況・事実)		PDCA 支援者・支援方針		見立て(M) 個人 または 組織									
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※「TAIOシート」という名前は、「T…ただちに」「A…アセスメント」「I…いつでも」「O…多くの視点で」の頭文字をとってつけました。

2 「TAIOシート」の検索機能

検索機能を使うと、入力した記録を、①月別、②学級別、③学年別、④名前別で検索し、一覧表にまとめて表示することができます。

K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V	
日付		年組		生徒名		記入者		分類		気づき(K) 内容(状況・事実)		PDCA 支援者・支援方針		見立て(M) 個人 または 組織									
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
○	●	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	



- ① 月別一覧表
- ② 学級別一覧表
- ③ 学年別一覧表
- ④ 名前別一覧表

3 「TAIOシート」の使い方

(Step1) TAIOシートをダウンロードします。

(方法1) 右の二次元コードから

新着 学校向けツール をタップ → “TAIOシート”

(方法2) 子サポのホームページから

子サポ 調査研究 → “子どもと親のサポートセンター調査研究事業”



(Step2) TAIOシートに、スタッフが児童生徒の様子について気づいたことを入力します。

(Step3) スタッフは、いつでも入力された記録を見ることができます。つまり、定例会議を待たずに共通理解を図り、支援の方法や連携について検討することができます。

(Step4) 児童生徒への支援を開始します。

★常に新しい情報が「記録」「共有」されることで、短い周期で支援の在り方を見直すことができます。

「発達を促す不登校 LIFE」

子サポN o 8

講師：和光大学 現代人間学部 心理教育学科 教授

こう さか やす まさ
高 坂 康 雅 氏

日時：令和6年6月8日（土）

受付 9：00 ～ 9：25

講演 9：30 ～ 12：00

個別相談 13：00 ～ （1ケース：25分）

※センター所員による「不登校」等の個別相談を実施します。

※個別相談を希望される方は、参加申し込み時にお知らせください。

その際、内容・時間等を後日確認させていただきます。

会場：千葉県総合教育センター 大ホール

対象：県民・教育関係者等 定員：120名 参加費：無料

申込方法：電話・FAX・メール・二次元コード

千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談部

電話：043-207-6034 FAX：043-207-6041

メール：saposoudan@chiba-c.ed.jp

*以下の内容を御記入ください。

件名「教育相談講演会1 申し込み」

氏名（ふりがな）

所属（教育関係者以外の方は「一般・市町村名」明記）

連絡先（電話番号） 個別相談希望の有無



- 手話通訳や車いす席等を希望される場合は、参加申し込み時にお申し出ください。締め切りは、5月31日（金）です。
- この申し込みで得た個人情報は、当事業の業務以外には一切使用いたしません。
- FAX、メールでのお申し込みに関しては、受理した旨の返信を差し上げます。しばらくして返信が無い場合は、お手数ですが教育相談部（電話043-207-6034）まで連絡願います。
- * 非常変災等により日程変更がある場合は、子どもと親のサポートセンターホームページでお伝えします。また、電話でも受け付けています。前日17時までに教育相談部（電話043-207-6034）にお問い合わせください。

【FAX専用】 休日開故事業 教育相談講演会1 申込票

<令和6年6月8日(土)実施 講演 9:30~/個別相談:13:00~/>

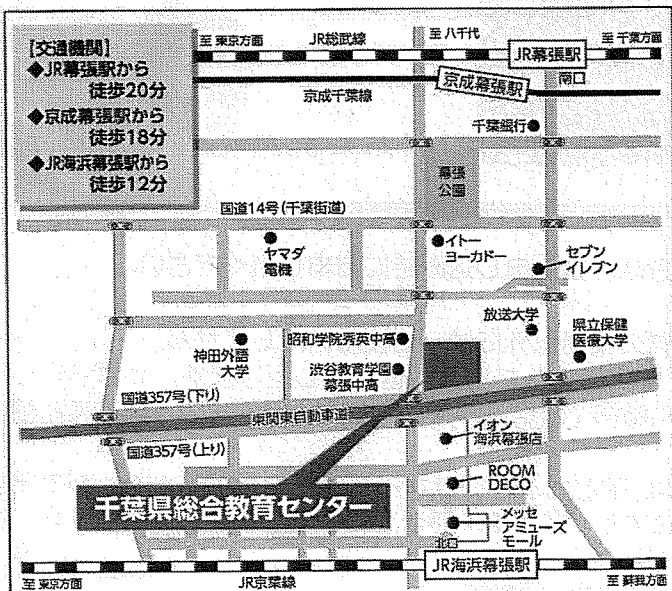
申込年月日	令和6年	月	日()
市町村名・所属名	・一般(市町村名) ・教育関係者(所属名)		
1	ふりがな		
	氏名		
2	ふりがな		
	氏名		
3	ふりがな		
	氏名		
連絡先	電話	—	—
	FAX	—	—
	メールアドレス		

個別相談(午後)の希望(どちらかに○をつけてください)

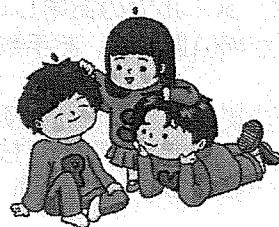
有 無

※個別相談を希望された方には、電話で内容・時間等を確認させていただきます。

【連絡事項】何か御要望等ございましたら、お書きください。



次回予定 【教育相談講演会2】
 日時:令和6年11月30日(土)
 講演 9:30~12:00
 「(仮)子供の理解を深める」
 講師:学会会木村病院
 医師 松木悟志 氏





千葉県立美術館・博物館 令和6年度 注目の展示

※会期・行事名等は令和6年4月時点の情報です

県立美術館

開館50周年記念特別展
PROJECT UMINOUE「五十嵐靖晃 海風」

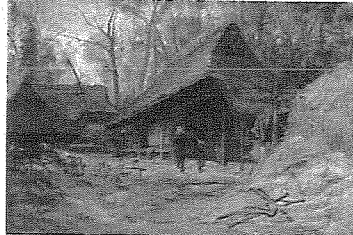


《そらあみ》

千葉みなとの埋立地にアートが出現！

多様な人々とその土地や自然をつなぐアートをテーマに活動する千葉県出身のアーティスト、五十嵐靖晃が凱旋。館内だけでなく、千葉みなとの屋外各所にも作品を展示し、地域に新たな文化を作り出します。
会期:7月13日(土)～9月8日(日)

開館50周年記念
「浅井忠、あちこちに行く 一むすばれる人、つながる時代」



浅井忠《萬屋根》

千葉県立美術館の最大コレクション
浅井忠の大展覧会

日本近代洋画の先駆者、浅井忠は、千葉県ゆかりの画家です。
開館以来、県立美術館が重点的な調査と収集を行ってきた浅井忠の作品の数々を大公開します。
会期:10月30日(水)～令和7年1月19日(日)

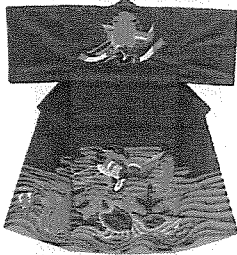
昭和49年10月に開館した千葉県立美術館は、令和6年10月に開館50周年を迎えます。
美術館ではこれを記念して、地域との連携や50年間のコレクションを活かしたスペシャルな展覧会・イベントを開催します。



美術館外観

中央博物館

特別展「万祝博覧会 一海をまとう」



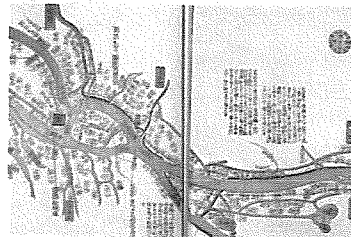
万祝(県立中央博物館蔵)

房総半島発祥の漁師の祝い着
「万祝」が大集結！

大漁の祝着として漁師に贈られた「万祝」は、千葉から南は静岡、北は青森まで広まりました。各地の華やかな万祝のほか、現役の万祝染職人やデザインの活用など、現代まで続く取組も紹介します。
会期:7月27日(土)～9月29日(日)

関宿城博物館

企画展「赤松宗旦と利根川図志」



『利根川図志』(県立関宿城博物館蔵)

「赤松宗旦」とは？
「利根川図志」とは？

江戸時代末期に出版された『利根川図志』は、利根川流域の名所や風土、伝聞など様々な分野について記録された書物です。
『利根川図志』とその著者・赤松宗旦について紹介します。
会期:9月28日(土)～11月24日(日)

房総のむら

企画展「地域に生きる醤油づくり」



ちば醤油(株)の仕込蔵

生産量日本一、千葉の醤油づくりを深掘り！

千葉県は、野田市と銚子市で醤油生産が盛んで、現在生産量は日本一。17世紀前半から続く醤油生産の歴史や、現在の醤油と地域との関わりを道具や資料で紹介します。
会期:12月7日(土)～令和7年2月2日(日)

むらの縁日・夕涼み

会期:8月3日(土)・4日(日)

現代産業科学館

開館30周年記念イベント
「みなさまと共に歩む科学館」

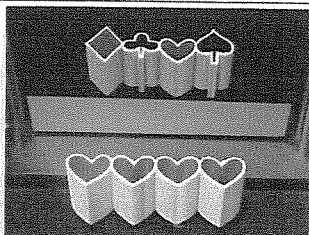


20周年記念の時の様子

開館30周年！「わくわく」が止まらない！

現代産業科学館の30年の歩みや館自體のコレクションを大公開！秋の企画展のプレ展示も行います。6月22日(土)、23日(日)には、T型フォードの記念撮影会や実験ショーなどイベントが盛りだくさんです。
会期:6月14日(金)～30日(日)

開館30周年記念企画展「見る」



画像提供: 明治大学 先端数理科学インスティテュート「気まぐれハート」

♥ハート♥が並んだ模型を鏡越しに見ると...?

私たちの生活の中に欠かせない「見ること」に関する科学や技術を紹介。機械の目、生き物の目など、様々な「見る」を楽しみましょう。
会期:10月12日(土)～12月1日(日)

中央博物館分館 海の博物館

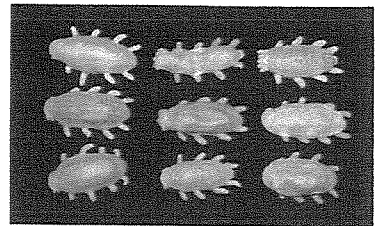
夏休みスペシャル

「勝浦・磯の生きものミニ水族館」

会期:7月13日(土)～9月1日(日)

マリンサイエンスギャラリー「超深海」

会期:令和7年2月22日(土)～5月11日(日)



千島海溝水深約7,300mから採集されたクマナマコ

租税教室事例（高等学校・専修学校用）

「租税教室」は、次代を担う生徒・学生の皆さんが、国の基本となる租税の役割、申告納税制度の意義などを正しく理解し、社会の在り方を主体的に考えることにより、納税に対する納得感の醸成に向けた納税意識の向上を図ることを目的として、租税教育推進協議会(※)が実施しています。

開催に当たっては、事前にご担当の先生方と打合せを行い、各学校の実情及びご要望を踏まえて、実施方法・講義内容を決定させていただきます。

講師派遣に関する費用は一切かかりません。社会科・公民の授業以外でも総合的学習や長期休業期間(夏休み等)など、幅広くご活用ください。

(※) 租税教育推進協議会は、教育機関、行政機関及び関係民間団体等が協力して、租税教育の推進と充実のための環境整備及び支援を目的とし運営されている協議会です。

租税教室事例

I 公平な税制を考えるアクティブラーニング

グループワークを行い、お金を「公平」に集める方法を考えてもらいます。

様々な集め方の存在や、立場による「公平」の感じ方の変化、さらに互いの意見を重んじながら合意を形成していく過程を体験します。

また、実際の税の集め方にも同じ考え方が活かされており、約 50 種類の税金があることを説明します。

次の3人で公園を作ることになりました。公園を作るのに3000万円が必要ですが、3人からどのように集めたらよいでしょうか。

	収入	1案	2案	3案	4案
A	2500万円				
B	500万円				
C	7000万円				
計	1億円				

II これから必要な税の知識や実践力

給与明細書や源泉徴収票の見方、所得税の仕組みや累進課税制度など、これから必要な税の知識を習得することを目的とします。

また、パソコンやスマートフォンなどを利用し、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、所得税の確定申告書の作成体験を行うこともできます。

給与支払明細書(例) 令和5年4月分 氏名: 花子

支払額	控除額	所得額
基本給	200,000	4,000
残業手当		任意給
通勤手当		健康保険料
住宅手当		介護保険料
賞与手当		厚生年金保険料
給与調整手当		雇用保険料
		国民健康保険料
		国民年金保険料
		任意保険料
		ローン返済
		給与控除額
		任意控除額
支払総計	200,000	控除総計

「手取り金額」
他にも生命保険、火災保険に入っていればその支払いも...

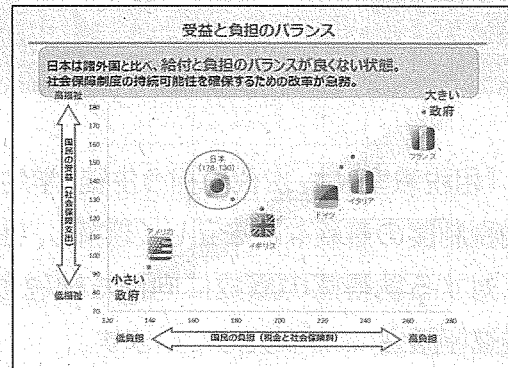
支払総額 170,000円

Ⅲ 「財政教育プログラム」を取り入れた授業

財務事務所と連携して実施しています。

主権者教育の一環として、日本の財政に興味を持ってもらい、財政を自分たちに関わる問題として捉え、国の未来について考え判断できる知識を育むことを目的とします。

授業の一例としては、財政の講義の後、国の予算や社会保障改革プランを提案するグループワークを、タブレットを使用したアクティブラーニング形式で実施しています。



Ⅳ 「模擬選挙」を取り入れた授業

選挙管理委員会と連携して実施しています。


選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若者への主権者教育の推進がより一層求められています。

授業では、選挙の意義や重要性などを理解してもらうための講義のほか、「税」に関する公約を掲げる候補者を立て、実際の投票箱や投票記載台などを使用して模擬投票を行います。

衆議院議員選挙公報
〇〇選挙管理委員会

みんなの笑顔があふれる日本へ

- 子育てしやすい日本
保育所・放課後児童クラブの充実！ 待機児童ゼロ！
幼児教育の完全無償化！ 子育て世代を応援！
- 女性が活躍しやすい日本へ
意欲と希望を持った女性が働きやすい社会の実現！
家庭で家事や子育て、介護などを頑張る方も応援！



無所属
山田かおる


※ 財源は？・・・所得税・法人税の最高税率を引き上げ、富裕層や大企業に負担を求め、所得の再配分を行う。

Ⅴ 「薬物乱用防止」を取り入れた授業

税関と連携して実施しています。

低年齢化する薬物乱用防止の一助となるべく、また、国民の健康・安全を守るうえで税関の果たす役割の重要性を理解してもらうことを目的とします。

授業では、税関の役割や業務、薬物乱用防止についての講義のほか、ご要望があれば、知的財産侵害物品に関することや麻薬探知犬によるデモンストレーションも実施しています。



税関の役割
～税関の3つの使命～

- 1.安全・安心な社会の実現
- 2.関税等の適正・公平な課税
- 3.貿易の円滑化の推進

【お問合せ・お申込み】

租税教室についてのお問合せやお申込みは、「租税教室等開催申込先一覧」の申込先にご連絡ください。

租 税 教 室 等 開 催 申 込 先 一 覧

※電話でお問合せの場合は、自動音声案内に従い「2」を選択してください。

学校の所在地	地区租税教育推進協議会 (地区租推協)	申 込 先	
		地区租推協 事務局	TEL・FAX
千葉市	千葉市租推協	千葉東税務署 税務広報広聴官	TEL 043-225-6811 (内線 291) FAX 043-222-5520
市原市	市原市租推協	千葉南税務署 総務課 課長補佐	TEL 043-261-5571 (内線 211) FAX 043-264-5350
習志野市	習志野市租推協	千葉西税務署 総務課 課長補佐	TEL 043-274-2111 (内線 203) FAX 043-273-5360
八千代市	八千代市租推協		
銚子市	銚子市租推協	銚子税務署 総務課 総務係長	TEL 0479-22-1571 (内線 202) FAX 0479-24-8680
旭市	旭市租推協		
匝瑳市	匝瑳市租推協		
市川市	市川市租推協	市川税務署 総務課 課長補佐	TEL 047-335-4101 (内線 202) FAX 047-335-7694
浦安市	浦安市租推協		
船橋市	船橋市租推協	船橋税務署 総務課 課長補佐	TEL 047-422-6511 (内線 211) FAX 047-422-7130
館山市・鴨川市 南房総市・鋸南町	安房地域租推協	館山税務署 総務課 総務係長	TEL 0470-22-0101 (内線 22) FAX 0470-22-0421
木更津市・君津市 富津市・袖ヶ浦市	君津地区租推協	木更津税務署 総務課 課長補佐	TEL 0438-23-6161 (内線 111) FAX 0438-23-9638
松戸市・流山市 鎌ヶ谷市	松戸・流山・ 鎌ヶ谷地区租推協	松戸税務署 総務課 課長補佐	TEL 047-363-1171 (内線 205) FAX 047-365-4500
香取市・神崎町 多古町・東庄町	香取郡市租推協	佐原税務署 総務課 総務係長	TEL 0478-54-1331 (内線 211) FAX 0478-54-5940
茂原市・一宮町・陸沢町 長生村・白子町・長柄町 長南町	長生郡市租推協	茂原税務署 総務課 総務係長	TEL 0475-22-2166 (内線 311) FAX 0475-24-2120
勝浦市・いすみ市 大多喜町・御宿町	夷隅郡市租推協		
成田市・佐倉市・四街道市 八街市・印西市・白井市 富里市・酒々井町・栄町	印旛郡市租推協	成田税務署 税務広報広聴官	TEL 0476-28-5151 (内線 320) FAX 0476-28-1590
東金市・山武市 大網白里市・九十九里町 横芝光町・芝山町	山武郡市租推協	東金税務署 総務課 総務係長	TEL 0475-52-3121 (内線 23) FAX 0475-54-0580
柏市・我孫子市 野田市	柏・我孫子・ 野田地区租推協	柏税務署 総務課 課長補佐	TEL 04-7146-2321 (内線 211) FAX 04-7146-4013

第55回

財政経済セミナー

受講料
無料

財政経済セミナーは、租税教育に携わる方を対象として、租税教育の現状や今後の方向性をご紹介するとともに、租税教室に関する知識とノウハウを習得していただくことを目的としています。

日時

令和6年8月23日(金) 9:20~16:15

会場

コンgresクエア日本橋
2階 コンベンションホールA・B

定員

200人
※先着順

講師

一般教養の部

日本大学 文理学部 教授

広田 照幸氏



経済の部

株式会社日本総合研究所 調査部 主席研究員

河村 小百合氏



租税教育の部

東京都立田園調布高等学校 主幹教諭

宮崎 三喜男氏

財政・税務行政の部

東京国税局

主催：東京国税局

後援：千葉県教育委員会、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、山梨県教育委員会

講師プロフィール

広田 照幸氏 日本大学 文理学部 教授

1959年、広島県比婆郡生まれ。岡山県立倉敷南高校卒業。東京大学教育学部卒業後、東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得の上退学。博士（教育学）。南山大学文学部講師・助教授、東京大学大学院教育学研究科助教授・教授を経て、2006年10月から日本大学文理学部教授。日本学術会議連携会員。

専門は教育社会学、教育学、社会史。歴史と理論の両面から、近現代日本の教育の諸課題を幅広い視野で考察している。

著書に、『陸軍将校の教育社会史——立身出世と天皇制——』（世織書房、第19回サントリー学芸賞受賞）、『日本人のしつけは衰退したか』（講談社現代新書）、『教育不信と教育依存の時代』（紀伊國屋書店）、『教育論議の作法』（時事通信社）、『教育改革のやめ方』（岩波書店）、『大学論を組み替える』（名古屋大学出版会）、『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』（ちくまプリマー新書）など多数。



河村 小百合氏 株式会社日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年京都大学法学部卒。日本銀行勤務を経て1991年株式会社日本総合研究所入社、2019年より現職。

財務省財政制度等審議会財政制度分科会委員（現職）のほか、国税庁国税審議会委員、内閣官房行政改革推進会議民間議員、厚生労働省社会保障審議会委員等を歴任。その他公職多数。

国会関係では、参議院財政金融委員会参考人（2023年6月1日）、参議院予算委員会公聴会公述人（2019年3月12日）等を務めた。

NHKラジオ第一「マイ！Biz～経済のイマ」（月曜日朝）準レギュラー。

著書は、『日本銀行 我が国に迫る危機』（講談社、2023年3月）、『中央銀行の危険な賭け』（朝陽会、2020年10月）、『中央銀行は持ちこたえられるか』（集英社、2016年11月）、『欧州中央銀行の金融政策』（金融財政事情研究会、2015年1月）ほか。

このほか、財政・金融政策運営関連の論文、新聞・雑誌等への出稿（連載を含む）等執筆多数（いずれも<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=2790>に掲載）。



スケジュール

- 8:30 ~ 9:15 受付
- 9:20 ~ 9:30 ガイダンス
- 9:30 ~ 10:30 財政・税務行政の部
- 10:45 ~ 12:15 一般教養の部
- 12:15 ~ 13:30 (昼食) 近隣の飲食店等をご利用ください。
- 13:30 ~ 15:00 経済の部
- 15:15 ~ 16:15 租税教育の部

アクセス

- コンGRESSスクエア日本橋 コンベンションホールA・B
東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル2階
- ・東京メトロ「日本橋」駅 B9出口直結
 - ・東京メトロ「三越前」駅 B5出口から徒歩3分
 - ・JR・東京メトロ「東京」駅 日本橋口から徒歩5分

【会場：コンGRESSスクエア日本橋 2階】



申込方法

パソコン、スマートフォンから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、お申込みください。

申込期限：令和6年7月31日（水）まで

申込資格：小学校、中学校、高等学校等の学校関係者及び教育委員会の職員のほか、税理士、地方団体職員、税に関係する民間団体会員など、租税教育に携わる方

定員：200人（定員に達し次第、受付終了）

【申込フォーム】国税庁ホームページ > 国税庁等について > 東京国税局 > 新着情報

https://www.nta.go.jp/about/organization/tokyo/suggestion/seminar/input_form.html

お問合せは、最寄りの税務署 又は 東京国税局 総務部 国税広報広聴室 03-3542-2111（代表）へ



【申込フォーム】

令和6年度 第63回

税に関する 高校生の作文募集

募集要項

テーマ

税の意義と役割について考えたこと

税の意義とその役割について、自分で考えたことや体験を通じて考えたこと、問題意識を持ったことなど、自らの言葉で表現しているものであれば、何でも結構です。例えば・・・

●社会との関わりの中で自分が体験したことを通じて税について考えたこと ●税に関するニュースや身近な税の話について考えたこと ●これからの社会の在り方について税の観点から考えたこと ●税や財政等の学習を通じて考えたこと ●国税庁ホームページの「税の学習コーナー」を見て考えたことなど (例示にとられる必要はありません)

※1：作文の題名は自由です。

※2：応募作品は、本人が創作したもので未発表のものに限ります。盗作や不適切な引用等があった場合は、審査対象外になることがあります。

応募資格

高校生、中等教育学校生(後期課程)及び高等専門学校生(1年生～3年生) **提出先** 最寄りの税務署

締切り

令和6年9月6日(金)必着 **応募点数** 1人1編 **文字数** 800字以上1,200字以内

※1：作文の冒頭には、「学校名・学年・氏名(ふりがな)・題名」を、末尾には、「応募者の住所」を記載してください。学校を通じて応募する場合は、住所の記載は必要ありません。また、文字数には、「学校名・学年・氏名(ふりがな)・題名」及び「応募者の住所」は含まれません。

※2：原稿用紙は、国税庁ホームページ「税の学習コーナー」(<https://www.nta.go.jp/taxes/kids/sakubun/koko/r06/boshu.htm>)に掲載していますので、ご利用ください。

※3：作文に応募いただいた方などを対象に、アンケートを実施する場合がありますので、その際にはご協力くださいますようお願いいたします。

表彰

優秀作品には賞状と記念品を贈呈します。

発表

優秀作品は、都道府県名・学校名・学年・氏名とともに国税庁ホームページや国税当局が作成する広報誌等に掲載するほか、報道機関等に資料を提供するなど、広く発表します。

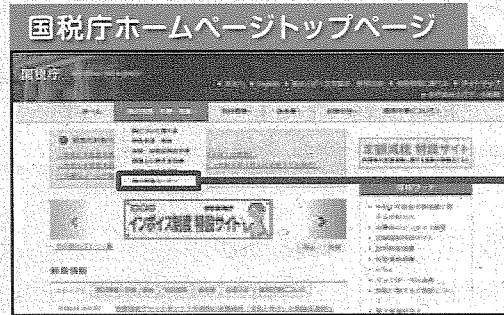
著作権

作品は返却しません。
作品の著作権は国税庁に帰属します。

税について
もっと知りたいときは…

国税庁ホームページの 税の学習コーナーへ

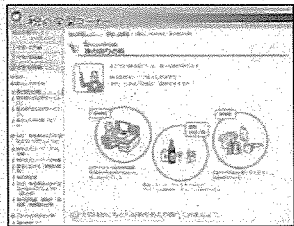
国税庁ホームページの「税の学習コーナー」では、税についてもっと詳しく学びたいという生徒の皆さんや、先生方が授業で税を取り上げるときに活用していただける資料・教材等を提供しています。



国税庁ホームページ上部のグローバルナビゲーション（各種情報の入口）「税の情報・手続・用紙」の「税の学習コーナー」をクリック！

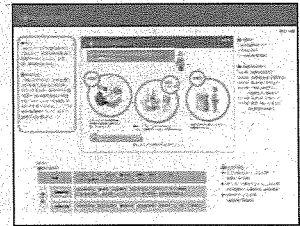
生徒の皆さんへ

税についてもっと詳しく学びたいときに、こちらの資料をご利用ください。



先生方へ

生徒の皆さんに「税の意義・役割」について伝えるための講師用マニュアルや租税教育の事例集等を提供しています。



国税庁ホームページ
<https://www.nta.go.jp>

税の学習コーナー

検索



(参考) 財務省ホームページでも財政や税制の資料等を提供しています。

<https://www.mof.go.jp>

高校生の皆さん・指導に当たられている先生方へ

「税に関する高校生の作文」は、次代を担う高校生の皆さんが、税を題材とした作文を書くことを通じて、税に対する関心を一層深めていただきたいという趣旨で、昭和37年度から毎年実施しています。令和5年度は、全国1,506校から174,008編の作文が寄せられ、その中から優秀作品を厳選し、国税庁長官賞12編のほか、国税局長賞、税務署長賞を贈呈しました。

高校生の皆さんへ

税の学習を通じて考えたことや、税に関するニュースについて考えたことなど、税の意義と役割について考えたことを自らの言葉で表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

指導に当たられている先生方へ

作文を応募した学校の先生方に実施したアンケート（令和5年度）によれば、「作文を書くことで生徒の税に対する理解が深まった」と回答された方は、92.1%でした。この作文の趣旨をご理解いただき、生徒の皆さんが積極的に応募されますようご配慮をお願いいたします。

なお、各税務署では税に関するビデオやパンフレットなども用意しています。これらの資料の貸出しや税務署見学、税務署等の職員による租税教室の開催などを希望される場合は、最寄りの税務署までお気軽にご相談ください。

個人情報の使用について

応募に関する個人情報については、表彰のための連絡及び発表以外には使用しません。また、国税当局と機密保持に関する契約を交わした委託業者等に作文の審査を委託する場合を除き、第三者に開示することはありません。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。